



開かれた議会を目指して

下野市議会議長 岩永 博美

新年明けましておめでとう
ございます。

平成30年の輝かしい新春を
健やかに迎えのこととお慶
び申し上げます。

昨年中は議会の活動に対し
まして、市民の皆様のご理解
とご支援を賜り、円滑な議会
運営ができましたことを心か
らお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ります
と、海外では1月のトランプ
氏のアメリカ大統領就任に始
まり、8月、9月と相次ぎ、
全国瞬時警報システム（Jアラ
ート）による警報が東日本
の広い範囲で発せられ、日本
にとりまして、社会不安が
高まる年でありました。幸い
にも国内に被害はありません
でしたが、警戒対象地域では
鉄道の一時運転見合わせや学
校の休校措置が取られるなど、
市民生活に少なからず影響が
ありました。国際情勢がにわか
に緊張を帯び始め、Jアラ
ートの警報が発せられる状
況において、改めて我が国の
安全保障について考えさせら
れるとともに、米国をはじめ
とする諸外国の動向は日本に
どのような影響を及ぼすのか、

注視していかなければならな
いと思えます。

また、昨年は、過去に類を
見ない記録的な豪雨により、
九州北部に大規模な被害が発
生しました。本市においても
災害時には警察や消防、自衛
隊など関係機関と緊密に連携
をとれるよう、平時に体制を
整え、安全安心な街づくり
に努めてまいりたいと思えます。

市議会では過去の教訓を
どのように行政が生かして
いるのかといった点も含め、
議案審査や事務事業調査を
通じて議会のチェック機能
を十分に発揮すべく活動し
てまいります。

平成26年4月の市議会議員
の改選から間もなく4年が経
過します。この間、市民の皆
様から信頼される議会、分か
りやすい議会を目指して、議
会基本条例に基づく議会改革
に積極的に取り組んでまいり
ました。

そのような取組の中、昨年
は従来の「議会報告会」に加
え、市民と議会がより自由に
情報及び意見を交換できるよ
う、市内で活動している障が
い者団体や市消防団、かん

びよう生産者等と各常任委員
会との懇談会を実施しました。
皆様からのご意見を伺うこと
により、それぞれの行政分野
で抱えている課題をより具体
的に把握し検討・研究を重ね
ることで、委員会活動は更な
る深化を迎えました。今後は、
それらの課題の解決に向け、
市議会一丸となって取り組ん
でいく所存でございます。

また、8月19日には下野市
として初めての中学生議会を
開催しました。市内中学校の
生徒が議員として議場に立ち、
市長に質問を投げかける姿を
拝見し、未来の担い手として
頼もしく感じたところです。

平成28年に選挙権年齢が18歳
まで引き下げられた一方、全
国的に地方議会議員のなり手
不足や、地方議会議員選挙の
投票率の低さが深刻になって
います。中学生議会などを通
じ、若い人たちの政治や行政
に対する関心がより一層高ま
ることを期待します。

また、12月1日には議場コ
ンサートを開催しました。こ
ちらも市議会としては初めて
の試みであり、市文化協会
「箏・樹陽会」による演奏に

より、議場は美しい箏の旋律
で満たされました。「みんな
で学びあい文化のかおるまち
づくり」、これは下野市民憲
章の柱の一つであり、今後も
このような取組を通じて、市
民の皆様が議場に足を運んで
いただけるよう積極的に取り
組んでまいります。

市議会では議会活性化特別
委員会を設け検討を進め、今
年4月の市議会議員選挙後か
ら会派制を導入してまいりま
す。改選後も市議会の改善・
改革が図られるよう継続的に
議会改革に取り組み、また、
市民の皆様が幸せを実感して
いただけるまちづくりに向け、
市議会はこれからもまい進し
ていく所存でありますので、
引き続きご理解とご協力をく
ださいますよう、よろしくお
願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の
皆様一人ひとりととりまして、
実り多い素晴らしい年となり
ますことを、心から祈念いた
しまして、新年のご挨拶とさ
せていただきます。